

## 夢のつばさプロジェクトニュース

## 2012 年度 春キャンプ実施報告

【実施期間】2012年5月19日～20日

【開催地】岩手県遠野市・花巻市、宮城県仙台市（保護者との懇談会）

【主な内容】

5月19日	〈牧場体験〉 ● 餌やり ● 乗馬 ● 蹄鉄投げゲームなど 〈キャンプ〉 ● テント張り ● カレー作り ● キャンプファイヤー
5月20日	夢のつばさ♥プロジェクト／花巻青年会議所55周年記念事業・共催科学イベント ● 川口淳一郎氏講演会、宇宙服・はやぶさ模型等の展示（協力：JAXA） ● 子ども科学教室：ソーラーカー作り（協力：NEDO）

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちの長期支援を目的として2011年4月にスタートしました。被災3県（宮城、岩手、福島）の子どもたちを対象に、昨年度は東京で2回キャンプを実施しましたが、岩手県からは問い合わせはあるものの、交通の事情もあって参加者がありませんでした。そこで、花巻青年会議所（花巻JC）創立55周年記念事業として依頼されて企画した科学イベントの共催にあわせて現地での春キャンプを行い、岩手県を中心に49名（小学1年生～中学2年生）の参加がありました。

当日はお天気にも恵まれ、子どもたちは学生ボランティアと一緒に、牧場で馬と触れ合ったり、テント張りや食事作りに挑戦したりし、キャンプファイヤーに歓声をあげていました。翌20日は川口淳一郎氏の講演を聴き、JAXAの方々が出てきて下さった、小惑星探査機「はやぶさ」や小惑星「イトカワ」の模型、宇宙服などを見て、楽しい時間を過ごしました。NEDOの方々のご協力による、ソーラーカー作り教室やアザラシロボットのパロも人気でした。2日間を通して、子どもたちは、楽しみながら色々な発見をし、好奇心をくすぐられた様子でした。また、学校や学年の枠を超えて打ち解け、高学年の子が積極的に低学年の子の世話をする姿も見られました。

一方、子どもたちをサポートする学生ボランティアにとっては、子どもたちの震災経験をどのように受け止めていくかということが大きな課題でした。この点については、事前にカウンセラーの講演を聞くなどして、子どもたちと一緒に遊ぶ中で、何かあれば寄り添う、丁寧に話を聞くという「受容と共感」の姿勢を心がけました。今後も多くの方々から助言をいただきながらよりよい方法を考えていきたいと思えます。

また今回初めての試みとして、子どもがキャンプに参加している間に、本プロジェクトの室伏きみ子氏、滝澤公子氏が、カウンセラーの河野貴代美氏（元お茶の水女子大学教授）と共に、



▲馬に乗れたよ



▲みんなで清掃



▲キャンプファイヤー

宮城県の保護者を訪ねて、お話を伺いました。混乱の時期を過ぎて、身内を亡くされたり被災された方々が改めて悲しみを深くされていることを知り、子どもたちだけでなく、保護者にも心を寄せていくことの大切さが浮き彫りになりました。

春キャンプを通じて、これまでに連携のあった教育委員会や桜蔭会岩手県支部有志に加え、岩手大学や花巻JCなど、岩手県を拠点とする様々な団体や現地の方々と交流し、今後に向けての協力関係を築くことができたことは、非常に意義があったと思います。学生ボランティアたちは、今後は子どもたちと年齢が近い学生だからこそできること、東京で活動しているからこそできること、様々な大学からボランティアが集まっているからこそできることなど、「夢のつばさ♥プロジェクト」ならではの活動をブラッシュアップしていきたいと意欲を燃やしています。

## ♥ 2012 年度夏キャンプを実施しました。

実施期間：7月31日～8月3日

開催地：軽井沢プリヂェストン保養所

※実施報告は次号に掲載する予定です。

夢のつばさ♥プロジェクトの活動についてはHPをご覧ください。

(<http://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/index.html>)

## ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行大塚支店（店番号227）普通1284200

【名称】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子  
ご協力いただける範囲で、ご寄付を賜りましたら幸いです。ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送り申し上げます。

連絡先：事務担当 滝澤公子

TEL &amp; FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org